

令和8年度 学校長あいさつ ～ 祝 公田小学校 創立50周年 ～

横浜市立公田小学校
学校長 中川 浩二

横浜市立公田小学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

学校長として2年目に入ります。今年度も、「公田の子」と一緒に過ごせることを楽しみにしています。

本校は、昭和52年4月に開校されて、今年度で創立50周年を迎えます。田んぼや畑があった山を造成し、本校や周辺の住宅地が建てられました。

校名は、「公田町」の地名をそのまま校名にしたいとの地元の方々の願いを受け、「公田小学校」となりました。「公田」という言葉から、古くからこの土地が開かれていたことがうかがえます。

緑豊かな木々に囲まれた学舎、新鮮で澄んだ空気、ウグイスなど小鳥のさえずり、校庭の芝生の上を飛び交う無数の赤とんぼ……。

さらに、空を見あげると、上空高く飛ぶしらすぎが、「公田の子」たちにエールを送っているようです。

このような自然あふれる環境の中で、素直な「公田の子」たちは、ひとみをかがやかせながら毎日のびのびと学んでいます。

今年度、学校長として、次頁の「令和8年度版 公田小学校ランドデザイン」に示す3つの方向性を目指し、教育活動を取り組んでまいります。

そして、「公田の子」一人一人がもっている力を伸ばし、いろいろな場面で活躍しながら、大きく成長していけるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

また、子どもたちを主役に創立50周年を祝い、この記念すべき節目の年度をスタート地点として、新しい未来へとつなげていきたいと考えています。

保護者のみなさま、公田小学校を支えてくださるみなさま、そして地域のみなさま、本校へのあたたかなご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 教育活動の全体構想については、次頁の「令和8年度版 公田小学校ランドデザイン」をご覧ください。



創立50周年記念 ロゴマーク

【スローガン】
『飛翔 ～ 五十年さらに
その先へはばたこう ～ 』



「校章 しらすぎ」のデザインに込められた意味

広々とした田に飛び交うしらすぎと、山を覆う桂の木、ありし日の「公田」をイメージしています。

しらすぎが飛ぶ姿に、大きくはばたく公田小の未来を、たくすとの思いが込められています。



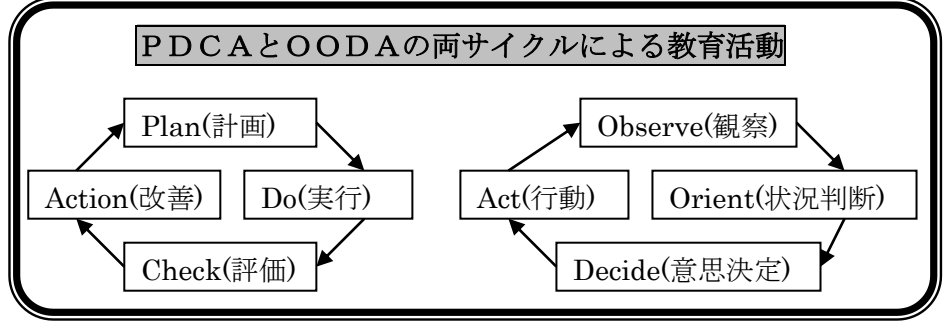
令和8年度版 横浜市立公田小学校 グランドデザイン

公田小学校の目指す方向性 (3つ)

方向性1
【学校の理念】 よりよい学校教育を通じて 子どもの豊かな人格を創る
【目指す学校像】 子どもたちの笑顔があふれ 価値を創造し 信頼に応える学校
【目指す職員像】 教育への情熱をもち 専門性を高め 主体的に行動する職員

方向性2 学校教育目標 **ひとみかがやく 公田の子**
【知】 主体的に学習に取り組み、自分の考えを深め、生き生きと表現できる力を育てます
【徳】 お互いのよさを認め合い、自他を大切にする態度を育てます
【体】 「心」や「体」の健康に興味関心をもち、いのちを大切にして、心身ともにたくましく生きる力を育てます
【公】 まちのよさを知り、まちとの関わりを大切にして、まちや社会のために自分を活かそうとする力を育てます
【開】 人とのコミュニケーションを大切にし、グローバルな視点をもって、人とともに生きていこうとする態度を育てます
詳細は、令和8年度 中期学校経営方針による (公田小ホームページに掲載)

方向性3 小中一貫教育推進ブロック (桂台中学校・桂台小学校)
【9年間で育てる子ども像】 生き生きと自分の思いを表現する児童生徒



本校の教育活動の根拠 (よりどころ)

- 教育法規及び学習指導要領
- 横浜市教育ビジョン2030
横浜の教育が目指す人づくり
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」
- 第5期横浜市教育振興基本計画
- 横浜市立学校カリキュラムマネジメント要領

日々の授業でじっくり学ぶ

- 日々の授業を大切に、各学年に応じた基礎・基本の学力の定着を図る
- 友達と学び合いながら自分の考え方を広げたり、理解を深めたりする力を伸ばす
- 授業研究を通して、教員の授業力向上を図り、一人一人を大切にしたい学びの推進
- 安心して学ぶための教室の環境作り
- 一人一台端末等によるICT教育の充実
- 学力状況調査等の結果分析・改善

豊かな心を育む

- 自分に自信をもって生きていける自己有用感を高める たてわり活動の充実
- 人権意識の醸成、友達の立場になって行動できる豊かな人間性の育成
- 学校のきまりを守り、学校をよりよくしていこうとする気持ちをもつ
- 生活意識アンケート等の結果分析・改善

安心・安全な学校づくり

- 子どもによりそい、何でも相談できる居場所をつくり、一人一人に応じた支援
- 「公田小いじめ防止基本方針」の取り組み
- 感染症等の対策を講じた学校生活
- 安全教育・防災訓練を意図的計画的に実施
- 通学路及び交通ルールを守った登下校
- 学校施設の安全点検・維持管理、防犯対策

常に根拠を確認し教育活動の改善を図る

夢中になって学ぶ楽しさを味わうための授業の工夫

複数の教員で子どもに声をかけて、ほめて伸ばしていく

危機管理のアンテナの感度を高めて未然防止

目指す方向性を意識した組織運営

職員の力量向上が教育の質を高める

日頃より正確な情報収集に努める

学校の組織運営

- 常に子どものことを第一に考える視点をもって組織を機能させ、迅速に行動していく
- PDCA、OODAのサイクルによる改善を通して組織を活性化
- 職員一人一人の成長と組織の成長との両立
- 適正な公金・準公金の執行
- 働きやすい職場の推進、職員の負担軽減

職員の行動

- 子どもや保護者の方の相談など、よりそい、ていねいに傾聴、責任をもって対応
- 教員は、授業力・児童理解力・学級経営力向上に努め、専門性をアップデートし学び続ける
- 全職員、自分の果たす役割を自覚的に行動
- 教育公務員の自覚をもち、公私を問わず信頼される、ふさわしい行動 「あんしん・あんぜん宣言」策定
- ライフワークバランスを考え、人間力の充実を図る

教育的課題への対応

- 本校をとりまく状況や今後予測される諸課題に向き合い対応
- 特別支援教育など多様な教育的ニーズへの対応
- 教育委員会や関係諸機関等と課題を共有し、連携・協働を図り対応
- 経営資源 (ヒト・モノ・カネ・情報・時間・知的財産など) のマネジメントと拡充

学校と地域が連携・協働し子どもの育成を充実

家庭と共に子どもを育成していくことが重要

幼保小や関係諸機関との連携により教育活動を充実

地域との連携・協働

- 学校運営協議会により地域の思いや願いを反映させた開かれた学校運営の充実を図る
- 地域学校協働本部によるボランティア活動の推進 地域の財を活用
- しらさぎを見守る会 (学援隊) による児童の登下校見守り活動で安全確保
- 子どもが地域への愛着をもち、感謝の気持ちを深めることにつながる地域との連携
- 学校HPの充実による「学校の見える化」の実現

家庭・PTAとの連携・協働

- 家庭にとって安全・安心かつ信頼される学校づくり
- 学校と家庭で目標を共有し、共に子どもを育てる
- 家庭の思いや願いによりそい、学校運営に反映
- PTA活動のスリム化とともに学校との連携を強化
- 「すぐーる」を利用し、ペーパーレス化を推進

幼保小連携 関係諸機関と連携

- 近隣幼稚園・保育園と連携を図り小1ギャップを緩和
- 栄区役所・警察署等の関係諸機関との連携
- 校外学習・出前授業等での連携 (公共団体、民間団体、NPO法人等)